



泌尿器科紀要

製本

第 13 卷 第 2 号

昭和 42 年 2 月

BNC

随想 恥の書き集め.....酒徳治三郎... 83

リンパ系造影法による乳糜尿症の研究.....永田 耕一... 85

原発性尿管癌の17例
(附 本邦166例の統計的観察)
.....北山 太一・中川 隆・桐山 喬夫・小松 洋輔・福山 拓夫・
上山 秀磨・岡田謙一郎・山下 喬世・岡部達士郎...119

多発結石を伴った尿管瘤の1例.....西村 保昭・佐藤 公彦...145

両側性睪丸細網肉腫
— I¹³¹-エチオドールによるリンパ管内照射療法を試みた1例—
.....森 義則・高羽 津...149

両側副腎手術を行なった Cushing 症候群の1症例
.....福重 満・藤本 洋治・田戸 治・伊藤千賀子...155

山口大学泌尿器科学教室における1965(昭和40)年度の臨床統計
.....仁平 寛巳・久世 益治・柏木 崇・大北 純三・
小宮 俊秀・名和田素平...165

パンアミン D₂ の使用経験.....土田 正義・菅原 博厚・木村 行雄...172

尿路感染症に対するメタコロマイシンの使用経験.....渡辺 昌美・川村 俊三・石崎 充...175

編集後記・購読要項・投稿内規.....182

A Study on Filarial Chyluria with Lymphography..... K. Nagata... 85

Primary Cancer of Ureter : Presentation of 17 Cases and Statistical
Survey of 166 Cases Reports in Japan....T. Kitayama, T. Nakagawa, T. Kiriya,
Y. Komatsu, T. Fukuyama, H. Ueyama, K. Okada, A. Yamashita and T. Okabe...119

A Case of Ureterocele Accompanied with Multiple Stone Formation.
.....Y. Nishimura and K. Sato...145

A Case of Bilateral Reticulum Cell Sarcoma of the Testis.
.....Y. Mori and M. Takaha...149

A Case of Cushing's Syndrome Undergone Bilateral Subtotal Adrenalectomy.
.....M. Fukushige, Y. Fujimoto, O. Tado and C. Ito...155

Clinical Statistics on Patients, Operations and Main Urological Examinations
in the Department of Urology, Yamaguchi University Hospital, during 1965.
.....H. Nihira, M. Kuze, T. Kashiwagi, J. Okita,
T. Komiya and M. Nawata...165

Use of "Panamine D₂" in Patients Undergone Urological Operations.
..... S. Tsuchida, H. Sugahara and Y. Kimura...172

Use of Methacolimycin for Urinary Tract Infections.
..... M. Watanabe, S. Kawamura and M. Ishizaki...175

泌尿紀要
Acta Urol. Jap.

京都大学医学部泌尿器科学教室
Department of Urology, Faculty of Medicine.
Kyoto University, Kyoto, Japan
Editor : Prof. Tsutomu INADA

編集後記

患者カラ 今マデニ受ケタ診療ニツイテ聴イテイルト ソノ医師ノ診療ニ疑問ヲ感ジタリ 驚イタリスル事ガアル。例エバ 或ル若イ男ノ患者ガ 軽度ノ側腹痛ト血尿ノタメニ某病院ヲ訪ネタ。ソコニハ泌尿器科医ハ居ナイガ 膀胱鏡検査ガ行ワレタ。ソレハ非常ニ痛カッタト云ウ。ソノ時ニハ診断ガ決マラナカッタノデ 数日後ニ再ビ行キ 尿管カテーテル法ヲ受ケタ。コレデモ診断ハ不明デアッタガ コノ上ハ 腎臓ヲ摘出スルヨリ仕方ガナイ ト云ワレタ コノ検査ノ後ニハ痛ミト高熱ノタメニ数日間呻吟シタ。ソレデ近所ノ内科医ニ往診シテモラッタトコロ ソノ医師ハコソナ事ヲシテハ大変ダカラ ト云ッテ 筆者アテニ紹介セラレタ。診察シテミルト 一側尿管下部ニ小結石ガアッタ

別ノ患者ハ中年ノ女デアルガ 内臓下垂ガアリ 既ニ外科医ニヨッテ 胃切除ト回腸部ノ手術ヲ受ケ ソノ腸手術ノ時ニ右腎固定術モ受ケタガ 再ビ腎ガ下垂シタノデ 次ニハ コノ腎ヲ摘出スル子定デ ソノタメニ 他側腎ノ健否ヲ検査シテホシイ トノ話デアル。

第1例ハ泌尿器科医デナイ医師ガ 泌尿器科ノ専門技術デアル膀胱鏡検査ヤ尿管カテーテル法ヲ行イ X線検査モ行ッタヨウデアルガ 徒ラニ患者ニ強度ノ苦痛ヲ与エタダケデ診断ヲ下ダシ得ズ シカモ 腎ヲ摘出シヨウト云ウノデアル。実ニ言語道断デアル。幸ニ内科医ガ当方ヘ送ッテクレタノデ コノ患者ハ難ヲ逃レル事ガ出来タ 専門ノ技能ノナイ医師ガ他科領域ノ専門的機械ヲ用イテ検査シタリ 誤ッタ判断ヲ下ダシタリスルノハ 以テノ他デアリ 医師ノ倫理ニ反スル事デアル。

第2例ハ泌尿器科医デナイ医師ガ腎下垂ニ対シテ行ッタ処置ガ適當デナク 効果ガナカッタメニ今度ハ腎摘出ヲ行ウトイウノデアル。コレ亦 我々ノ思イモ及バヌ事デアル。

コノ頃ハ医学ノ領域ガ広クナッ タ一方ニ 細分サレ 専門化サレテ来タ。内科モ外科モソレ自體ガ細分サレテイル現状デアル。泌尿器科ハ立派ナ独立科目デアル。他科ノ片手間デ出来ルヨウナモノデハ決シテナイ。モシ安易ニ考エルヨウナ事ガアッテハ 人道ニ反スルヨウナ事態ノ発生モアリ得ル。

専門医制度ハ理論ノ上カラバカリデハナク 上記ノヨウナ現実的ノ面カラモ必要デアル(昭和42年2月)。

購読要項

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間予約購読料金 1,500円を前納する。1冊料金 150円。払込みは振替口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会申込みは氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他、寄稿者は会員に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名：誌名、巻数：頁数、年次。
例。1) 中野：泌尿紀要，1：110，昭30。2) Lazarus, J. A. : J. Urol., 45 : 527, 1941.
5. 欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を付け、なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳する。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受ける。
6. 掲載料の著者負担は4頁迄毎頁 600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真、欧文組版等は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する。予め希望部数を申込みこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集部が行う。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部宛、書留便、